

プログラム

1日目：9月18日（木）

会務総会

時間：13:00～13:50

特別シンポジウム

「わが国のボツリヌス研究の温故知新 ～阪口玄二先生の研究に焦点を当てて～」

時間：14：00～15：10 A会場（Uホール白鷺）

司会：三宅 眞実（大阪府立大学）

- SS-1-01 阪口玄二先生とボツリヌス毒素研究
小崎 俊司（大阪府立大学）
- SS-2-02 ボツリヌス毒素研究の新知見
藤永 由佳子（大阪大学微生物病研究所）
- SS-3-03 ボツリヌストキソイドワクチンの開発
高橋 元秀（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）

教育講演 I

時間：15：20～16：10 A会場（Uホール白鷺）

講演者：日佐 和夫（大阪府立大学食品安全科学研究センター）

演題：グローバル化に対応した食品工場監査

司会：勢戸 祥介（大阪府立大学）

シンポジウム I

「グローバル化を迎えた食品微生物学の課題」

時間：16：15～18：00 A会場（Uホール白鷺）

司会：大澤 朗（神戸大学）

三宅 眞実（大阪府立大学）

- S-I-01 グローバル化に対応する食品衛生行政
滝本 浩司（厚生労働省・医薬食品局食品安全部）
- S-I-02 グローバル化に対応する食品産業
（ゼンショーグループの牛肉等を事例として）
平山 健（株式会社ゼンショーホールディングス）
- S-I-03 グローバル化と食品微生物規格の考え方
豊福 肇（山口大学）
- S-I-04 パネルディスカッション

2日目：9月19日（金）

教育講演Ⅱ

時 間：13：00～14：00 A会場（Uホール白鷺）
講演者：大野 博司（理化学研究所）
演 題：宿主－腸内フローラ相互作用
司 会：西川 禎一（大阪市立大学）

シンポジウムⅡ

「食品の品質確保における期限表示のあり方」
時 間：14：10～15：40 A会場（Uホール白鷺）
司 会：小笠原 準（大阪市立環境科学研究所）
梅迫 誠一（株式会社ダイヤ）

- S-II-1 食品期限表示のためのガイドラインについて
山本 茂貴（東海大学）
- S-II-2 包装食品の腐敗・変敗
久田 孝（東京海洋大学）
- S-II-3 民間検査機関における食品期限表示設定のための検査の現状
西井 成樹（株式会社ファルコライフサイエンス）
- S-II-4 食品製造業における食品賞味（消費）期限表示設定の実際
谷川 基喜（モロゾフ株式会社）

トピックス

時 間：15：45～15：55 A会場（Uホール白鷺）
講演者：守山 隆敏（スリーエムヘルスケア株式会社）
演 題：ICMSF Japanの立ち上げと活動方針案

優秀発表賞表彰・閉会

時 間：15：55～16：10 A会場（Uホール白鷺）

一般講演

1日目：9月18日（木）

A会場（Uホール白鷺）

9：20～9：50 座長：甲斐 明美（東京都健康研究安全センター）

A-1-01 すべてのVT遺伝子サブタイプを検出するためのリアルタイムPCR法の確立と食品検査への応用
○原田哲也，勢戸和子，田口真澄
（大阪府立公衆衛生研究所）

A-1-02 免疫磁気ビーズを用いて食品中の腸管出血性大腸菌の2つの血清群を同時に検出する方法の検討
○清水美和子，磯部順子，木全恵子，増田千恵子，金谷潤一，佐多徹太郎，綿引正則
（富山県衛生研究所）

A-1-03 腸管出血性大腸菌 O26，O103，O111，O121，O145 および O157 検出のための培養法の検討
○磯部順子¹⁾，齊藤志保子²⁾，古川一郎³⁾，権平文夫⁴⁾，佐々木美智子⁵⁾，長尾清香⁵⁾，工藤由起子⁵⁾
（富山県衛研¹⁾，秋田県健康センター²⁾，神奈川県衛研³⁾，デンカ生研⁴⁾，国立衛研⁵⁾）

9：50～10：30 座長：勢戸 和子（大阪府立公衆衛生研究所）

A-1-04 腸管出血性大腸菌 O26，O103，O111，O121，O145 および O157 の食品での試験法のコラボレイティブスタディによる評価(1)
○清水大輔¹⁾，岩渕香織²⁾，菊地理慧³⁾，大塚佳代子⁴⁾，小西典子⁵⁾，山崎匠子⁶⁾，鈴木史恵⁷⁾，磯部順子⁸⁾，永井佑樹⁹⁾，山田裕子¹⁰⁾，坂本綾¹¹⁾，上田泰史¹²⁾，森哲也¹³⁾，工藤由起子¹⁴⁾
（(株)BFS¹⁾，岩手県環境研²⁾，福島衛研³⁾，埼玉衛研⁴⁾，東京都健安研⁵⁾，杉並区衛試⁶⁾，静岡市環境研⁷⁾，富山衛研⁸⁾，三重保環研⁹⁾，広島総研保環センター¹⁰⁾，広島市衛研¹¹⁾，神戸検疫所¹²⁾，東京顕微鏡院¹³⁾，国立衛研¹⁴⁾）

A-1-05 腸管出血性大腸菌 O26，O103，O111，O121，O145 および O157 の食品での試験法のコラボレイティブスタディによる評価(2)
○上田泰史¹⁾，永井佑樹²⁾，磯部順子³⁾，鈴木史恵⁴⁾，山崎匠子⁵⁾，小西典子⁶⁾，大塚佳代子⁷⁾，菊地理慧⁸⁾，岩渕香織⁹⁾，山田裕子¹⁰⁾，田内敦子¹¹⁾，森哲也¹²⁾，中川弘¹³⁾，工藤由起子¹⁴⁾

(神戸検疫所¹，三重保環研²，富山衛研³，静岡市環保研⁴，杉並区衛試⁵，東京都健安研⁶，埼玉衛研⁷，福島衛研⁸，岩手県環保研⁹，広島総研保環センター¹⁰，広島市衛研¹¹，(一財)東京顕微鏡院¹²，(株)BFS¹³，国立衛研¹⁴)

A-1-06 食品における志賀毒素遺伝子の検出感度の検討

○小西典子¹，大塚佳代子²，森哲也³，上田泰史⁴，清水大輔⁵，原田誠⁴，中川弘⁵，甲斐明美¹，長尾清香⁶，寺嶋淳⁶，工藤由起子⁶
(東京都健安研¹，埼玉衛研²，(一財)東京顕微鏡院³，神戸検疫所⁴，(株)BFS⁵，国立衛研⁶)

A-1-07 食品におけるO抗原遺伝子検出法の検出感度の検討

○長尾清香¹，森哲也²，清水大輔³，上田泰史⁴，小西典子⁵，大塚佳代子⁶，中川弘³，原田誠⁴，甲斐明美⁵，寺嶋淳¹，工藤由起子¹
(国立衛研¹，(一財)東京顕微鏡院²，(株)BFS³，神戸検疫所検査センター⁴，東京都健安研⁵，埼玉衛研⁶)

10:30~11:00 座長：磯部 順子 (富山県衛生研究所)

A-1-08 ウシ由来 STEC の O-genotype を含めた遺伝学的特徴解析

○加藤結子¹，大島律子²，河合央博²，西本清仁³，佐々木麻里⁴，成松浩志⁴，秋吉充子¹，中嶋洋²，緒方喜久代⁴，伊豫田淳⁵，石原朋子⁵，大西真⁵，井口純¹
(宮崎大学¹，岡山県環境保健センター²，大分県食肉衛生検査所³，大分県衛生環境研究センター³，感染研⁵)

A-1-09 腸管出血性大腸菌のO抗原検出用キット試薬の評価

○森 哲也¹，岸野かなえ¹，難波豊彦¹，吉崎美和²
(一財)東京顕微鏡院¹，タカラバイオ株式会社²)

A-1-10 STEC の O 血清群別に見た選択培地上での生育特性

○秋吉充子¹，加藤結子¹，中村寛海²，井口 純¹
(宮崎大学¹，大阪市立環科研²)

B会場 (B3棟117)

9:20~10:00 座長：吉田 信一郎 (一般財団法人日本食品分析センター)

B-1-01 腸炎ビブリオ迅速同定法の開発

○坂田淳子，川津健太郎，久米田裕子
(大阪府立公衆衛生研究所)

B-1-02 DOX システムを用いたビブリオ属定量法の開発

○丹埜昭一¹，福井直樹¹，鳥鷹幸弘¹，大川三郎²，森田幸雄³，Sumalee Boonmar⁴
(ダイキン工業株¹，個人²，東京家政大学³，タイ厚生省⁴)

B-1-03 蛍光基質法による大腸菌群及び大腸菌の直接迅速計測

○佐々木康彦¹⁾, 竹内郁雄¹⁾, 丸山健一²⁾, 山岸 裕²⁾

(㈱日立パワーソリューションズ¹⁾, 五稜化学㈱²⁾)

B-1-04 魚肉練り製品における FISHFC 法による腸内細菌科菌群迅速検査と大腸菌群検査との比較

○大坪雅史, 平井絵梨

(北海道立工業技術センター)

10:00~10:30 座長: 梅迫 誠一 (株式会社ダイヤ)

B-1-05 粉末清涼飲料の細菌試験法の問題とその改善法の検討

○市川希美¹⁾, 森哲也¹⁾, 難波豊彦¹⁾, 齋藤明美²⁾, 吉田信一郎²⁾,

工藤由起子³⁾

((一財)東京顕微鏡院¹⁾, (一財)日本食品分析センター²⁾, 国立衛研³⁾)

B-1-06 パルスフィールド・ゲル電気泳動法における簡易プラグ洗浄装置の作成

○村上光一¹⁾, 野田多美枝¹⁾, 前田詠里子¹⁾, 世良暢之¹⁾, 藤本秀士²⁾

(福岡県保環研¹⁾, 九州大学²⁾)

B-1-07 検便保存用培地キャリブレア培地の保存性に関する検証

○品川さやか, 江田孝志, 武田正嗣, 中川弘

(株式会社BMLフード・サイエンス)

10:30~11:00 座長: 貫名 正文 (神戸市環境保健研究所)

B-1-08 ホーチミン市の食品流通過程における ESBL 産生大腸菌の汚染状況

○久米田裕子¹⁾, Do Phuc Nguyen²⁾, Anh Dao Nguyen Thi²⁾, Hien Le Thi²⁾,

Thanh Phong Ngo²⁾, Hoang Ngan Nguyen Ly²⁾, Minh Doan Tran Nguyen²⁾, 河

合高生¹⁾, 河原隆二¹⁾, 神吉政史¹⁾, 余野木伸哉¹⁾, 陳内理生¹⁾, 山本容正^{1) 3)}

(大阪府公衛研¹⁾, ホーチミン公衆衛生医療院²⁾, 大阪大学³⁾)

B-1-09 鶏肉由来バンコマイシン耐性腸球菌 (VanA 型) における Tn1546 の遺伝子解析

○西野由香里¹⁾, 井田美樹¹⁾, 下島優香子¹⁾, 猪股光司¹⁾, 石塚理恵¹⁾, 宮尾陽

子¹⁾, 黒田寿美代¹⁾, 奥野ルミ¹⁾, 石崎直人²⁾, 貞升健志¹⁾, 甲斐明美¹⁾

(東京都健安研¹⁾, 麻布大学²⁾)

B-1-10 食品あるいはその製造環境から分離されたグラム陰性桿菌の薬剤耐性について

○中村寛海¹⁾, 安福 潔²⁾, 平山照雄¹⁾, 平井有紀¹⁾, 藤原佐美³⁾,

西尾孝之¹⁾

(大阪市立環科研¹⁾, 大阪市保健所²⁾, 大阪南医療センター³⁾)

C会場（B3棟118）

9：20～9：50 座長：横井川 久己男（徳島大学）

C-1-01 緑茶の殺菌作用におよぼす水の成分の影響
○池晶子，糸満多佳子，河野みずき，瀧上詩織，宮本真衣
（羽衣国際大学）

C-1-02 渋柿および柿の葉に含まれるタンニン量と抗ウイルス活性の解析
○奥一央，神本真紀，島本敏，島本整
（広島大・院・生物圏科学・食品衛生学）

C-1-03 タンニンを含む植物抽出物の抗ウイルス効果
○神本真紀¹⁾²⁾，中井義昭²⁾，辻徹²⁾，島本敏¹⁾，島本整¹⁾
（広島大・院・生物圏・食品衛生¹⁾，アルタン（株）²⁾）

9：50～10：20 座長：飯島 義雄（神戸市環境保健研究所）

C-1-04 市販洗剤添加エタノールのネコカリシウイルスに対する不活化効果
○三元昌美，上間匡，野田衛
（国立医薬品食品衛生研究所）

C-1-05 変性リゾチームを用いたノロウイルスの不活化
○仲沢萌美¹⁾，高橋肇¹⁾，佐藤美紀¹⁾²⁾，土也知輝¹⁾，宮下隆²⁾，武内章²⁾，
久能昌朗²⁾，高宮満²⁾，久田孝¹⁾，木村凡¹⁾
（東京海洋大学¹⁾，キューピー株式会社²⁾）

C-1-06 抗ノロウイルス活性を持つ変性リゾチーム含有アルコール製剤の開発
○佐藤美紀¹⁾²⁾，高橋肇²⁾，仲沢萌美²⁾，杉坂亜里沙¹⁾，與田昭一¹⁾，
笹原亮¹⁾，川島里紗¹⁾，宇野真也¹⁾，金光智行¹⁾，高宮満¹⁾，木村凡²⁾
（キューピー株式会社¹⁾，東京海洋大学²⁾）

10：20～10：50 座長：森 功次（東京都健康安全研究センター）

C-1-07 生物発光酵素免疫測定法(BLEIA®法)を用いたノロウイルス検出試薬 BL-NV
‘栄研’の基礎的検討
○小野智也，横山浩，濱田邦彦
（株式会社江東微生物研究所）

C-1-08 ブレアを用いたノロウイルスの拭き取り検査構築の試み
○下村力斗，清水大輔，中川弘
（株式会社BMLフードサイエンス）

- C-1-09 カキおよびムラサキイガイから検出されたノロウイルス遺伝子の次世代シーケンサーによる比較解析
○上間匡¹⁾，野田衛¹⁾，春名美香²⁾，佐々木貴正³⁾
(国立衛研¹⁾，農水省 消費・安全局²⁾，農水省 動物医薬品検査所³⁾)

D会場 (B3棟116)

9:20~9:50 座長：原田 誠也 (熊本県保健環境科学研究所)

- D-1-01 ナグビブリオによる集団食中毒事例
○佐々木麻里，成松浩志，緒方喜久代
(大分県衛生環境研究センター)
- D-1-02 *Bacillus cereus* 食中毒株 *cereulide* RNA の定量的発現活性に関する研究
○上田成子，江口香葉子，山口真波
(女子栄養大学)
- D-1-03 ナンを原因とする黄色ブドウ球菌食中毒の検証
○笠原ひとみ¹⁾，関口真紀¹⁾，中沢春幸¹⁾，藤田暁¹⁾，水澤哲也²⁾
(長野県環境保全研究所¹⁾，長野県松本保険福祉事務所²⁾)

9:50~10:30 座長：浅尾 努 (一般財団法人日本食品分析センター)

- D-1-04 新規ブドウ球菌エンテロトキシン Q の免疫学的検査法の確立と毒素産生性の解析
○胡東良¹⁾，岡村雅史¹⁾，岡田玲奈¹⁾，樋爪裕美¹⁾，小野久弥²⁾，今西健一³⁾，中根明夫²⁾
(北里大¹⁾，弘前大²⁾，日本保健医療大³⁾)
- D-1-05 高齢者デイサービス施設で発生したウェルシュ菌食中毒事例について
○余野木伸哉¹⁾，川津健太郎¹⁾，神吉政史¹⁾，原田哲也¹⁾，安田綾²⁾，迎恵美子³⁾，小金井洋輔⁴⁾，久米田裕子¹⁾
(大阪府立公衛研¹⁾，枚方市保健所²⁾，四條畷保健所³⁾，岸和田保健所⁴⁾)
- D-1-06 *In vitro* 感染実験モデルを用いたウェルシュ菌エンテロトキシンの役割の解明
○菅原祐樹¹⁾，星英之¹⁾，山本茂貴²⁾，鎌田洋一³⁾，Mahfuzur R. Sarker⁴⁾，三宅眞実¹⁾，安木真世¹⁾
(大阪府立大学¹⁾，東海大学²⁾，岩手大学³⁾，オレゴン州立大学⁴⁾)
- D-1-07 食品を中心とした新型エンテロトキシン (CPILE) 産生ウェルシュ菌の分布と分離株の性状
○門間千枝¹⁾，畠山薫¹⁾，高橋正樹¹⁾，下島優香子¹⁾，山本浩平¹⁾，清水美穂¹⁾，神門幸大¹⁾，齊木大¹⁾，赤瀬悟¹⁾，小西典子¹⁾，横山敬子¹⁾，貞升健志¹⁾，鎌田洋一²⁾，甲斐明美¹⁾
(東京都健安研¹⁾，岩手大学²⁾)

10:30~11:00 座長：向本 雅郁（大阪府立大学）

D-1-08 *Streptococcus suis* 検出用 LAMP 法の開発と市販豚肉の汚染度調査

○石田沙倉¹⁾，遠矢真理¹⁾，野本竜平²⁾，大澤朗³⁾，関崎勉¹⁾
（東大院・農・食の安全セ¹⁾，神戸大・自然²⁾，神戸大院・農・食の安全安心科学セ³⁾）

D-1-09 黄砂を含む粉塵からボツリヌス菌を検出するための基礎検討

○長澤俊範¹⁾，中尾元幸²⁾，石原陽子²⁾，幸田知子¹⁾，安木真世¹⁾，小崎俊司¹⁾，
三宅眞実¹⁾
（大阪府立大学¹⁾，久留米大学医学部²⁾）

D-1-10 貧栄養環境におかれたコレラ菌の物理・化学ストレスに対する耐性化に関する研究

○大澤朗¹⁾，柴田裕介¹⁾，野本竜平²⁾
（神戸大院・農・食の安全安心科学センター¹⁾，神戸大・自然科学²⁾）

一般講演

2日目：9月19日（金）

A会場（Uホール白鷺）

9：20～9：50 座長：堀川 和美（福岡県保健環境研究所）

- A-2-01 EHEC 検出・分類マルチプレックス PCR キットの開発と評価
○井口純¹⁾， 秋吉充子¹⁾， 吉崎美和²⁾
（宮崎大学・農学部・畜産草地¹⁾， タカラバイオ株式会社²⁾）
- A-2-02 腸管出血性大腸菌multiplex PCR Typing法(EHEC_mPT法)の開発
○山田和弘¹⁾²⁾， 鈴木匡弘¹⁾， 松本昌門¹⁾， 山下照夫¹⁾， 倉根隆一郎²⁾，
皆川洋子¹⁾
（愛知県衛生研究所¹⁾， 中部大学²⁾）
- A-2-03 IS-printing を用いた腸管出血性大腸菌 O157 の clade 推定法の確立
○平井晋一郎¹⁾， 横山栄二¹⁾， 江藤良樹²⁾， 瀬戸順次³⁾， 市原祥子²⁾，
鈴木裕³⁾， 前田詠里子²⁾， 堀川和美²⁾
（千葉県衛生研究所¹⁾， 福岡県保健環境研究所²⁾， 山形県衛生研究所³⁾）

9：50～10：20 座長：泉谷 秀昌（国立感染症研究所）

- A-2-04 肉用牛農場における継続的な腸管出血性大腸菌O157 の汚染調査及び遺伝子解析
○和田真太郎， 森哲也， 岸野かなえ， 横田春海， 鄒碧珍， 伊藤武
（一般財団法人東京顕微鏡院）
- A-2-05 網羅的検出手法による下痢原性大腸菌の汚染源調査
張少博¹⁾， 王麗麗¹⁾， 鄭冬明¹⁾， 藤原佐美²⁾， 若林明世³⁾， 中村寛海⁴⁾，
前原智史⁵⁾， 工藤由起子⁶⁾， ○西川禎一¹⁾
（大阪市大¹⁾， 大阪南医療センター²⁾， 兵庫県食検³⁾， 大阪市環科研⁴⁾，
大阪市食検⁵⁾， 国立衛研⁶⁾）
- A-2-06 Isolation and molecular characterization of *Escherichia coli* from raw milk and raw milk cheese in Egypt
○Rabee A. Ombarak¹⁾²⁾， Atsushi Hinenoya¹⁾， Abdel-Rahman M. Elbagory²⁾， Shinji Yamasaki¹⁾
（Osaka Prefecture University¹⁾， Sadat City University, Egypt²⁾）

10 : 20～11 : 00 座長 : 西川 禎一 (大阪市立大学)

- A-2-07 新興病原体 *Escherichia albertii* のゲノムおよび疫学解析
○大岡唯祐¹⁾, 勢戸和子²⁾, 小野英俊³⁾, 河野喜美子⁴⁾, 小林秀樹⁵⁾,
吉野修司⁴⁾, 瀬戸順次⁶⁾, 山口敬治⁷⁾, 古川真斗⁸⁾, 徳岡英亮⁸⁾, 井口純⁹⁾,
藺牟田直子¹⁰⁾, 原田誠也⁸⁾, 西順一郎¹⁰⁾, 桂啓介¹¹⁾, 小椋義俊¹⁾¹¹⁾, 林哲也¹⁾¹¹⁾
(宮崎大・医¹⁾, 大阪府公衛研²⁾, 宮崎県都城食検³⁾, 宮崎県衛環研⁴⁾,
動衛研⁵⁾, 山形県衛研⁶⁾, 北海道衛研⁷⁾, 熊本県保環研⁸⁾, 宮崎大・農⁹⁾,
鹿児島大・医歯学¹⁰⁾, 宮崎大・フロンティア¹¹⁾)
- A-2-08 2ステップ Multiplex PCR を用いた食中毒原因菌 11 種の検出法
○柳本恵太, 植松香星
(山梨県衛生環境研究所)
- A-2-09 健康保菌者の検便検査を対象としたマルチプレックスプライマーの評価
○武田正嗣, 江田孝志, 中川弘
(株式会社 BML フード・サイエンス)
- A-2-10 プール糞便検体から食中毒菌を PCR, 融解曲線解析によりスクリーニングする
方法の実用性検証
○松本弘嵩¹⁾, 東隆寛¹⁾, 藤澤一雄²⁾, 井上伸²⁾, 荒川琢¹⁾
(東洋紡(株) 敦賀バイオ研究所¹⁾, (株)東邦微生物病研究所²⁾)

11 : 00～11 : 30 座長 : 緒方 喜久代 (大分県衛生環境研究センター)

- A-2-11 電流検出型 DNA チップを用いた食中毒原因菌の自動検査技術の開発
○稲田美雅¹⁾, 高瀬まどか¹⁾, 高橋匡慶¹⁾, 小野寺誠¹⁾, 後藤浩朗¹⁾,
湯澤栄子²⁾, 佐藤弘康²⁾, 本間幸子²⁾, 松島勇紀²⁾, 石川真理子²⁾, 松尾千秋²⁾,
岡部信彦²⁾, 小嶋由香²⁾ (現:川崎市立井田病院)
(株式会社 東芝¹⁾, 川崎市健康安全研究所²⁾)
- A-2-12 複数食中毒菌の同時増菌培地を組み合わせた DNA マイクロアレイ法と従来
法の比較
○山崎隆明¹⁾, 古川聡史¹⁾, 中島和輝¹⁾, 千田智巳²⁾, 澤村健一²⁾,
一色淳憲¹⁾, 中川弘²⁾
(東洋製罐グループホールディングス(株)¹⁾, (株)BMLフード・サイエンス²⁾)
- A-2-13 分子生物学的手法を用いた *Cronobacter* 属菌の迅速同定法の検討
○須藤朋子, 石井哲, 宮本真理, 西原正晴, 藤田孝, 鷺尾信幸
(雪印メグミルク株式会社)

B会場（B3棟117）

9：20～10：00 座長：西井 成樹（株式会社ファルコライフサイエンス）

- B-2-01 運動性を利用した ISO のサルモネラ検出法の有用性（第2報）
○島田敬司，小田俊一，吉田信一郎，浅尾努
（一般財団法人日本食品分析センター）
- B-2-02 クオリボックス[™]システムを利用したサルモネラの迅速定量試験法の検討
○行縄陽介¹⁾，北澤秀基¹⁾，盛田隆行¹⁾，上橋健三²⁾
（日清オイリオグループ^(株)¹⁾，デュボン^(株)²⁾）
- B-2-03 3M[™]ペトリフィルム[™]サルモネラ属菌測定用システムによるオンサイト調製型標準生菌を用いたサルモネラ単一生菌検出精度
○齋藤健太¹⁾，中島和英¹⁾，平井誠恵²⁾，島原義臣²⁾，守山隆敏³⁾，吉田智紀⁴⁾，高谷周督⁴⁾，齋藤美佳子⁴⁾，松岡英明⁴⁾
（^(株)東京食肉安全検査センター¹⁾，^(株)ニチレイ²⁾，スリーエムヘルスケア^(株)³⁾，東京農工大学⁴⁾）
- B-2-04 3M[™] Molecular Detection System を用いた *Listeria monocytogenes* の簡易迅速遺伝子検査法の評価
○川崎晋¹⁾，持田麻里¹⁾，齋藤美枝¹⁾，守山隆敏²⁾
（^(独)農研機構 食品総合研究所¹⁾，スリーエムヘルスケア^(株)²⁾）

10：00～10：30 座長：中村 寛海（大阪市立環境科学研究所）

- B-2-05 東京都内で流通する Ready-to-eat 食品からの *Listeria monocytogenes* 検出状況（2000-2012年）
○下島優香子，井田美樹，西野由香里，石塚理恵，猪股光司，宮尾陽子，黒田寿美代，仲真晶子，貞升健志，甲斐明美
（東京都健康安全研究センター）
- B-2-06 *Listeria* 属菌検出キットを用いたナチュラルチーズ工場における環境モニタリングシステムの構築
○宮本真理，菊次智，須藤朋子，西原正晴，石井哲，藤田孝，鷺尾信幸
（雪印メグミルク株式会社）
- B-2-07 食品由来 *Listeria monocytogenes* における *inlA* 未成熟終止コドンの保有状況および血清型による InlA アミノ酸配列の比較
○神吉政史，久米田裕子
（大阪府立公衆衛生研究所）

10 : 30~11 : 00 座長 : 山崎 伸二 (大阪府立大学)

- B-2-08** 鶏糞中のカンピロバクター属菌簡易迅速検出法の開発
○竹下佳那, 大槻隆司, 西山泰孝, 松本貴之, 森松文毅
(日本ハム株式会社 中央研究所)
- B-2-09** 市販鶏肉および牛肉からのカンピロバクターフェージ分離状況
○麻生嶋七美¹⁾, 重村久美子¹⁾, 徳島智子¹⁾, 本田己喜子¹⁾,
松田正法²⁾, 吉田英弘³⁾, 宮本敬久⁴⁾
(福岡市保環研¹⁾, 福岡市南区保健福祉セ²⁾, 福岡市食検³⁾, 九州大学⁴⁾)
- B-2-10** 食中毒患者, ウシおよびトリ由来カンピロバクターの PCR binary typing
(P-BIT) 法による解析
○山本香織¹⁾, 中村寛海¹⁾, 藤原淳史²⁾, 山田和弘³⁾, 鈴木匡弘³⁾,
小笠原準¹⁾, 西尾孝之¹⁾
(大阪市立環科研¹⁾, 大阪市食検²⁾, 愛知県衛研³⁾)

11 : 00~11 : 40 座長 : 林 賢一 (滋賀県衛生科学センター)

- B-2-11** サルモネラ, カンピロバクターおよびリステリアによるブロイラー農場および食鳥処理場の汚染状況
○岡村雅史, 鈴木直樹, 十川一樹, 胡東良
(北里大・獣医・人獣共通)
- B-2-12** ベトナム・ホーチミン市の生肉および魚介類におけるサルモネラ属菌の汚染状況
○神吉政史¹⁾, Do Phuc Nguyen²⁾, Anh Dao Nguyen Thi²⁾, Hien Le Thi²⁾,
Thanh Phong Ngo²⁾, Hoang Ngan Nguyen Ly²⁾, Minh Doan Tran Nguyen²⁾,
河合高生¹⁾, 河原隆二¹⁾, 余野木伸哉¹⁾, 陳内理生¹⁾, 久米田裕子¹⁾,
山本容正¹⁾
(大阪府公衛研¹⁾, ホーチミン市公衆衛生医療院²⁾)
- B-2-13** 欧米における非動物性食品の病原微生物による汚染の状況
○窪田邦宏, 天沼宏, 荻原恵美子, 酒井真由美, 春日文子
(国立医薬品食品衛生研究所)
- B-2-14** サルモネラのウズラ卵殻内への侵入と消長
○川上優太¹⁾, 川瀬遵¹⁾, 角森ヨシエ¹⁾, 穂葉優子¹⁾, 佐藤浩二¹⁾,
黒崎守人²⁾
(島根県保健環境科学研究所¹⁾, 島根県松江保健所²⁾)

C会場 (B3棟 118)

9:20~9:50 座長: 石村 勝之 (広島市衛生研究所)

- C-2-01 平板法による大腸菌の生存性評価への酸化ストレスの関与
○西谷巧太¹⁾, 井上裕介²⁾, 坂元仁²⁾³⁾, 土戸哲明³⁾⁴⁾, 古田雅一¹⁾⁴⁾
(大阪府大院・工¹⁾, 関大院・理工²⁾, 関大・化生工³⁾, 大阪府大・地域連携研⁴⁾)
- C-2-02 枯草菌胞子のコアの脱水およびコア内発現タンパク質の熱安定性に対するジピコリン酸の役割
○前田伸彦¹⁾, 坂元仁²⁾³⁾, 土戸哲明²⁾³⁾, 古田雅一¹⁾³⁾
(大阪府大院・工¹⁾, 関西大・化生工²⁾, 大阪府大・地域連携研³⁾)
- C-2-03 Co-60 ガンマ線または加熱処理後の *Bacillus subtilis* 芽胞の増殖に対するパプリカの影響
○阪井俊夫¹⁾, 普天間章²⁾, 土戸哲明²⁾, 古田雅一¹⁾²⁾
(大阪府大院・工¹⁾, 大阪府大・地域連携研²⁾)

9:50~10:20 座長: 盛田 隆行 (日清オイリオグループ株式会社)

- C-2-04 加熱損傷 *Moorella thermoacetica* 芽胞に対する脂肪酸エステル作用
○青山好男
(公益財団法人 東洋食品研究所)
- C-2-05 抗芽胞効果を有する抗菌剤および組合せの探索
○國武広一郎¹⁾, 宮崎祥典¹⁾, 田坂寛之¹⁾, 勢戸祥介²⁾
(攝津製油株¹⁾, 大阪府立大学²⁾)
- C-2-06 植物抽出液による加工食品の微生物制御
○加藤義啓¹⁾, 潘小軍²⁾³⁾, Mak Lee-Ming²⁾, 中野宏幸²⁾
(広島大学生物生産¹⁾, 広島大学生物圏科学²⁾, 中国・宜春学院大学³⁾)

10:20~10:50 座長: 野田 衛 (国立医薬品食品衛生研究所)

- C-2-07 パン表面上におけるノロウイルスの生残性について
○高橋迪子, 高橋肇, 久田孝, 木村凡
(東京海洋大学)
- C-2-08 ウイルス性胃腸炎検査における SPIA (Single Primer Isothermal Amplification) 法導入に関する検討
○森功次, 宗村佳子, 永野美由紀, 木本佳那, 林志直, 甲斐明美
(東京都健康安全研究センター)

- C-2-09 糖鎖固定化ナノ粒子を用いた2枚貝におけるノロウイルス濃縮法の検討
○山本新也¹⁾²⁾, 石黒亜基子¹⁾, 鈴木勝¹⁾, 名倉健一²⁾, 牧野大公²⁾,
犬塚君雄²⁾, 隅田泰生³⁾⁴⁾
(豊橋市衛試¹⁾, 豊橋市保健所²⁾, 鹿児島大³⁾, スディックス
バイオテック⁴⁾)

10:50~11:30 座長: 勢戸 祥介 (大阪府立大学)

- C-2-10 食品検体のノロウイルス検査にパンソルビン・トラップ法を用いる際の捕捉抗体供給源に関する検討
○斎藤博之¹⁾, 秋野和華子¹⁾, 田中智之²⁾, 野田衛³⁾
(秋田県健康環境センター¹⁾, 堺市衛研²⁾, 国立衛研³⁾)
- C-2-11 食品検体からパンソルビン・トラップ法によりノロウイルス RNA を抽出する際の α -Amylase 処理に関する検討
○秋野和華子¹⁾, 斎藤博之¹⁾, 田中智之²⁾, 野田衛³⁾
(秋田県健康環境センター¹⁾, 堺市衛生研究所²⁾, 国立衛研³⁾)
- C-2-12 パンソルビンを用いた抗体被覆/非被覆ウイルス粒子鑑別法の開発と応用
○野田衛¹⁾, 上間匡¹⁾, 三元昌美¹⁾, 山下育孝²⁾, 青木里美²⁾, 小林慎一³⁾,
斎藤博之⁴⁾
(国立衛研¹⁾, 愛媛県立衛環研²⁾, 愛知県衛研³⁾, 秋田県健康環境センター⁴⁾)
- C-2-13 パンを原因としたノロウイルス集団食中毒事例について
○土屋祐司, 佐原篤, 神保達也, 中野哲志, 加藤和子, 小粥敏弘, 小杉国宏
(浜松市保健環境研究所)

D会場 (B3棟116)

9:20~9:50 座長: 藤川 浩 (東京農工大学)

- D-2-01 微生物制御因子の惣菜類保存性向上に及ぼす影響
○斎藤裕樹¹⁾, 佐藤順²⁾, 前西拓也¹⁾, 増田敏郎³⁾, 門谷直樹⁴⁾, 小塚博⁵⁾,
伊藤正憲⁵⁾
(東洋大学生命科学部¹⁾, 東洋大学食環境科学部²⁾, 増田食品開発コンサル
ティング³⁾, ベスパック(株)⁴⁾, 上野製菓(株)⁵⁾)
- D-2-02 非破壊微生物活性計測システムの基礎的研究
羽田亜紀, ○高橋克忠
(けいはんな文化学術協会)
- D-2-03 非破壊微生物活性計測システムを用いた細菌増殖動態の解析
○三宅大介¹⁾, 本庄弘一¹⁾, 中野寛子¹⁾, 岡本一成¹⁾, 西井成樹¹⁾,
今井一人¹⁾, 小崎俊司¹⁾, 高橋克忠²⁾
((株)ファルコライフサイエンス¹⁾, けいはんな文化学術協会²⁾)

9:50~10:10 座長：寺嶋 淳（国立医薬品食品衛生研究所）

D-2-04 HACCP 実施のメリット（実態調査データから）

○豊福肇¹⁾，高澤秀行²⁾，高谷幸³⁾
（山口大学¹⁾，（株）高澤品質管理研究所²⁾，（公社）日本食品衛生協会³⁾）

D-2-05 新しい競合モデルによる微生物の増殖予測

○藤川浩¹⁾²⁾，ザヘル モハマッド ザッハ²⁾，宗像佳菜子¹⁾
（東京農工大・農・獣医¹⁾，岐阜大学院・連合獣医²⁾）

10:10~10:50 座長：河合 高生（大阪府立公衆衛生研究所）

D-2-06 リキッドフリーザーを用いたヒラメ筋肉中の *Kudoa septempunctata* 不活化の試み

○大西貴弘¹⁾，阿久澤さゆり²⁾，古沢博子¹⁾，吉成知也¹⁾，鎌田洋一³⁾，
小西良子⁴⁾
（国立衛研¹⁾，東京農大²⁾，岩手大³⁾，麻布大⁴⁾）

D-2-07 クロマグロの筋肉寄生ムツボシクドアの毒性試験

○横山博¹⁾³⁾，鈴木淳²⁾，船隈奈緒子¹⁾，小林彰子³⁾
（東大院・農学生命科学・水圏生物¹⁾，東京都健安研²⁾，東大院・農学生命
科学・食の安全研究センター³⁾）

D-2-08 *Sarcocystis fayeri* の馬体内寄生分布調査

○古川真斗¹⁾，福司山郁恵¹⁾，徳岡英亮²⁾，八幡裕一郎³⁾，峯岸恭孝⁴⁾
原口浩幸⁵⁾，鎌田洋一⁶⁾，小西良子⁷⁾，原田誠也¹⁾
（熊本県保健環境科学研究所¹⁾，熊本県健康福祉部²⁾，国立感染研³⁾，（株）ニ
ッポンジーン⁴⁾，（株）ファスマック⁵⁾，岩手大学⁶⁾，麻布大学⁷⁾）

D-2-09 野生ジカのクリプトスポリジウム保有状況と食中毒関連種の検索

○山崎朗子¹⁾，泉山信司²⁾，八木田健司²⁾，岸田直裕³⁾，窪崎敦隆¹⁾，工藤
由起子¹⁾，寺嶋淳¹⁾
（国立衛研¹⁾，国立感染研²⁾，国立保健医療科学院³⁾）

10:50~11:30 座長：吉浪 誠（イカリ消毒株式会社）

D-2-10 改良ニベン培地中の塩分濃度とヒスタミン産生菌の増殖態度およびヒスタミン産生性

○石川夏妃¹⁾，荒木恵美子¹⁾，早川亮太²⁾，池田誠¹⁾，山本茂貴¹⁾，
落合芳博¹⁾
（東海大学海洋学部¹⁾，日本食品衛生協会²⁾）

- D-2-11 食品から検出される耐熱性カビ *Hamigera* 属の菌種について
○矢内美幸¹⁾, 前川幸子¹⁾, 上田成一²⁾, 宇田川俊一³⁾
(一財)日本食品分析センター¹⁾, 長崎県立大学²⁾, 元(一財)日本食品分析センター³⁾)
- D-2-12 PCR 法を利用した *Talaromyces* 属の検出について
○山下哲史¹⁾, 中川弘之²⁾, 阪口利文¹⁾, 有馬寿英¹⁾, 枳穀豊²⁾
(県立広島大学¹⁾, アヲハタ株式会社²⁾)
- D-2-13 コーヒー生豆から分離されたカビとそのカフェイン耐性, オクラトキシン A 産生能
○矢口貴志¹⁾, 清水由巳²⁾, 富山大輔³⁾, 細谷幸一³⁾, 中山素一³⁾, 湯井幸治³⁾
(千葉大学真菌医学研究センター¹⁾, 関東学院大学²⁾, 花王(株)³⁾)

ランチョンセミナー

1 日目：9 月 18 日（木）

1. 株式会社 G S I クレオス

時 間：11:45～12:45 B 会場（B 3 棟 117）

講演者：朝倉 宏 先生（国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部 第一室室長）

演 題：鶏肉におけるカンピロバクター汚染の現状とその対策等について

担当者：松尾 亮一（株式会社 GSI クレオス 化成品部 理化学課）

TEL：06-6944-2623 Fax：06-6946-8548

E-mail：r.matsuo@gsi.co.jp

2. イルミナ株式会社

時 間：11:45～12:45 C 会場（B 3 棟 118）

講演者：関 典広（イルミナ株式会社 マーケティング部）

演 題：食品分野における次世代シーケンサー MiSeq を使った細菌叢解析の有用性

連絡先：イルミナ株式会社 マーケティング部

TEL：03-4578-2800 Fax：03-4578-2810

E-mail：contact@illuminakk.co.jp

3. ブルカー・ダルトニクス株式会社

時 間：11:45～12:45 D 会場（B 3 棟 116）

講演者：松山 由美子（ブルカー・ダルトニクス株式会社 MBT ビジネス マーケティング）

演 題：MALDI Biotyper が変える食品安全管理のワークフロー：
より迅速により正確により Cost-effective に

担当者：岡村 真弓（ブルカー・ダルトニクス株式会社 営業部）

TEL：045-440-0471 Fax：045-453-1827

E-mail：mayumi.okamura@bruker.com

4. 栄研化学株式会社

時 間：11:45～12:45 E 会場（B 3 棟 119）

講演者：福田 伸治 先生（前広島文教女子大学）

演 題：ノロウイルス検査法 up to date

担当者：足川達也（栄研化学株式会社 マーケティング推進室 MKT 二部）

TEL：03-5846-3280 Fax：03-5846-3291

E-mail：tatsuya_ashikawa@eiken.co.jp

ランチョンセミナーの参加受付は、両日とも 8 時 30 分より B3 棟内で整理券の発行により行います。

ランチョンセミナー

2日目：9月19日（金）

1. デュポン株式会社

時 間：11:50～12:50 C会場（B 3棟 118）

講演者：勢戸 和子 先生（大阪府立公衆衛生研究所）

演 題：どこまでやるの？大腸菌検査—大阪府公衛研の場合

担当者：上橋 健三（デュポン株式会社 ニュートリッション&ヘルス事業部
フードダイアグノスティクス製品）

TEL：03-5521-2479 FAX：03-5521-2070

E-mail：Kenzo.Uehashi@dupont.com

2. メルク株式会社

時 間：11:50～12:50 D会場（B 3棟 116）

講演者：Barbara Gerten（Merck KGaA R&D）

演 題：Actual Projects of ISO CEN Microbiology of the Food Chain

担当者：和田 さと子（メルク株式会社 メルクミリポア事業本部
バイオモニタリング事業部）

TEL：0120-013-326 FAX：03-5434-4897

E-mail：satoko.wada@merckgroup.com

3. シスメックス・バイオメリュー株式会社

時 間：11:50～12:50 E会場（B 3棟 119）

講演者：中村 寛海 先生（大阪市立環境科学研究所）

演 題：食品および食品製造施設から分離されるリステリアの特徴とリステリア検査法について

担当者：関口 幸恵（シスメックス・バイオメリュー株式会社 産業マーケティング部
プロダクトマネージャー）

TEL：03-6834-2715 FAX：03-6834-2667

E-mail：sachie.sekiguchi@biomerieux.com

ランチョンセミナーの参加受付は、両日とも8時30分よりB3棟内で整理券の発行により行います。

一般公開講座

一般公開講座のご案内

学術総会の開催に合わせて、一般公開講座を開催します。どなたでもご参加いただけます。

日 程：9月17日（水） 13：30～15：30

会 場：大阪府立大学 学術交流会館 多目的ホール （300名収容）

参加費：無料

テーマ：身近で起こる食中毒から身を守るには！
～家庭における食中毒予防10か条～

司会：武政二郎 （株式会社日研生物医学研究所）

林 賢一 （滋賀県衛生科学センター）

演題1：こうして起こった食中毒！

林 賢一（滋賀県衛生科学センター）

演題2：予防するにはどうしたらよいか！

山崎伸二（大阪府立大学）